

胃カメラ（上部消化管内視鏡）検査説明・同意書

カルテ No. _____ 氏名 _____ 様

検査日 年 月 日（ 曜日） 時 分

来院時間 午前・午後 時 分にご来院ください。

※当日は朝食抜きになります。保険証・診察券をご持参ください。

【食道・胃・十二指腸内視鏡についての説明】

- ・胃カメラ（上部消化管内視鏡）は、食道・胃・十二指腸の病気（炎症、潰瘍、ポリープ、癌など）を診断したり、貧血や腹痛の原因を調べたりすることが目的です。
- ・内視鏡を鼻や口から挿入して、食道、胃、十二指腸を観察します。必要があれば、病変の一部を採取して病理組織検査により良性か悪性かなどを診断します。
- ・検査時間は約 10 分程度です。
- ・当クリニックでは、経鼻内視鏡検査を受けられる方が大半です。
- ・口からの内視鏡を行った場合、嘔吐反射が高頻度でおこります。より楽に検査を受けられるように鎮静剤を使用する場合があります。鎮静剤を使用した場合、検査当日は自転車、バイク、車の運転はできません。

【偶発症】

偶発症が発生する頻度は、胃内視鏡検査では、10 万件に 78 件と全国調査により報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在、胃内視鏡検査による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。胃内視鏡検査では、以下の偶発症が起きる可能性があります。(1)胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔（穴があくこと）(2)生検により出血、穿孔 (3)薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下など）(4)検査前からあった疾患の悪化（症状が出ていなかった疾患も含む） なお、当クリニックでは偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対処をいたします。

・偶発症を避けるため、下記に該当される方はお申し出ください。

- (1) 血液をサラサラにする薬を服用している（バファリン、アスピリン、パナルジン、ワーファリン、プラビックス、プレタール、エパデールなど）検査前 1 週間、検査後 1 週間は中止です。
- (2) 緑内障、心臓病、前立腺肥大、薬によるアレルギーがある
- (3) 妊娠およびその可能性がある（原則として内視鏡検査は行いません。）

<前日>

検査前日の夕食は、消化のよい軽めの食事を午後 9 時までに済ませていただき、それ以後は何も食べないで下さい。（水・お茶のみ摂取可）

<当日>

- 朝食は摂らないでください。血圧の薬、少量の水は構いません。
 - 煙草も吸わないでください。（空腹時は、胃を強く刺激します。）
- 上記の事項について、説明を受け、十分に理解しましたので、検査を受けることに同意します。

平成 年 月 日 患者氏名（自署） _____

※ご都合が悪くなりましたら、お早目にご連絡ください。

T Kクリニック
052-851-1648